

## ハラスメント事案を中心とした

# 内部通報窓口担当者向け『傾聴・援助・記述/会話表現』実践講座

～ グループワーク、ロールプレイングを通して体系的に学ぶ ～

《開催要領》 ※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせていただきます。

日時▶ 2019年2月27日(水) 10:00～17:00

会場▶ 企業研究会セミナールーム(東京:麹町5丁目)

《開催にあたって》

内部通報制度は、企業の不正行為、リスクの早期発見を図るための有効なシステムです。しかし、実際の現場で相談者から、ヒアリングをすることは容易ではありません。また、内部通報窓口担当者自身も他業務と兼務しているケースも多く、限られた時間の中で対応しなければいけません。本セミナーでは、「ハラスメント」事案を中心に「聴く力」、「援助する力」、「記述/会話を通じたコミュニケーション技術」を駆使し、問題を抱える社員への効果的なアプローチ方法を解説致します。

講師 (株)ディークエスト ヘルプライン事業部 ジェネラルマネージャー 梅澤博文 氏

講師紹介  
新生銀行、コンプライアンスオフィサーでの経験を生かし、研修や内部統制業務や相談業務に従事した。2016年、ヘルプライン事業部事業ジェネラルマネージャーに就任。相談・内部通報窓口に係る業務管理、顧客テクニカルサポート、内部通報に関わる専門人材育成に携わるトレーナーとして活躍中。

《申込方法》 当会ホームページ (https://www.bri.or.jp) からお申し込み下さい。

企業研究会Q 検索

受講料: 1名( 税込・昼食代含む ) ※申込書をFAXでご送信いただく際は、ご使用のFAX機の使用法(0発信の有無など)をご確認の上、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

正会員 41,040円 (本体価格 38,000円) 一般 45,360円 (本体価格 42,000円)

182144-0303 内部通報窓口担当者向け『傾聴・援助・記述/会話表現』実践講座			
ふりがな 会社名			
住所			
TEL	FAX		
ふりがな ご氏名	所 属	職	
E-mail			

※申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

■申込・参加要領 : 当会ホームページからお申込みください。FAX、または下記担当宛E-mailからもお申込み頂けます。

後日(開催日1週間～10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問(FAQ)は当会HPにてご確認いただけます。([TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問])

※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。

■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/民秋・川守田 E-mail: [tamiaki@bri.or.jp](mailto:tamiaki@bri.or.jp)

TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 MFPR 麹町ビル 2F

## ・プログラム・

### 1. 職場の問題を理解する

- (1) 会社の相談窓口へ寄せられる声とは何か? ~内部通報の事例から~
- (2) ハラスメントはなぜ起こるか? ~人と環境の相互作用を考える~
- (3) 自己覚知とは? ~自分の価値観、思考、考え方のくせなどを理解する~
  - ・ワーク① 『セルフアセスメント』
  - ・自己診断にトライ

### 2. 職場の問題に対応するために必要な力①

職場の問題に対応するためのスキルとは?

- (1) わたしたちは何ができるかーあなたの中の3つの力、  
「傾聴」・「介入」・「記述・会話」力を伸ばす
  - ・ワーク② ロールプレイング(その1)
  - ・ペアワーク、相手の話を傾聴してみよう(職場の人間関係の問題を聴く)

### 3. 職場の問題に対応するために必要な力②

- ・ワーク③ ロールプレイング(その2)
- ・相談者に対する援助
- ・面談でスーパーバイザーとしての役割を演じてみよう  
(環境型セクシャルハラスメントのケースに基づくワーク)

### 4. 職場の問題に対応するために必要な力③

- ・ワーク④ グループワーク(その1)
- ・パワーハラスメントのケース(グループワーク回答演習)
- ・ワーク⑤ グループワーク(その2)
- ・セクシャルハラスメントのケース(グループワーク回答演習・回答発表・討議)

### 5. まとめ

- (1) 被通報者との面談・調査
- (2) セクハラ・パワハラ被害にあった人を支援するには
- (3) まとめ・トラブル発生を自らの成長につなげる

### 6. 質疑応答

※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせていただきます。

裏面もご覧下さい! 一枚のパンフレットで  
2種類のセミナーをご案内しております。